

同窓情報発信コーナー タロンペ

飛翔 首都圏でがんばる若手同窓会員の紹介

柔道整復師をめざして……

三浦 康汰 君

平成25年電気科卒

3月28日。毎月第4土曜日に定例で行われている役員会の後の懇親会の席に、その一週間前に行われた全国高等学校柔道選手権(その時の様子はp43に掲載)への出場を終え東京で合宿中だという秋工柔道部の佐々木部長と監督、それに二人の若手OB(秋工柔道部出身)が来られた。その若手OBの一人が今回ご紹介する、三浦 康汰 君(H25E)である。

翌月の編集会議で本紙の若手同窓会員を紹介するページに三浦君を紹介することが決まり、連絡を取ったが、なかなかタイミングが合わず、ようやく彼に会えたのは6月になってからのことだった。「どこへでも行きますよ」という彼の言葉に甘え、私が比較的出やすい池袋で待ち合わせるようになった。

6月7日の日曜、約束の11時30分に現れた三浦君は3月の時と少し違う印象。「メガネは？」と聞くと「あれは度が入ってないんです」という答え。要するにダメメガネ……。メガネをしていない方がなかなかのイケメンに見える。

ちょうど昼時ということで、駅近くのたまに利用するレストランに移動し、食事をしながら話を聞くことにした。移動する道すがら、「君は整体関連の専門学校に通っているとか？」と聞いてみると「僕がめざしているのは柔道整復師です」という答えが返ってきた。

かつてどこかで聞いたような、という気はしたものの、恥ずかしながら柔道整復なる治療術の名称がまともに私の頭に入ったのは、三浦君が答えてくれたこの時だったようだ。

後に改めてウィキペディアで調べたところによれば、柔道整復術の源流は戦国時代の武術にたどることができ、武術(柔術)における二つの技(殺法と活法)のうちの活法が発展・変遷してできあがった治療術であり、日本独自の治療法であるとのこと。一般的には、整骨、接骨(ほねつぎ)といった方が馴染み深いかもしれない。手術をせず、人間の持つ治癒能力を最大限に発揮させ、回復させるという点に大きな特徴



佐々木部長たちと定例役員会後の懇親会に来てくれた時の様子

があるようだ。

レストランの席に着き、話し始めてすぐに気がついたことがあった。私のメモには彼が平成24年卒業とあったが、正しくは平成25年。それでふと思い出したのは、<金砂>21号で取り上げた「市川に就職した新卒三君」が平成25年卒だったこと。加えてその中の一人、戸井田祐介君(H25M)も柔道部だったことを思い出した。「戸井田君を知ってるよね？」と聞くと「ええもちろん」それに加え「ほんとにたまにですが会います」とも。大げさに言うほどのことではないが、不思議な巡り合わせを感じた。

これもぜひ聞いてみたかった。「なぜ柔道整復師なの？」に彼の答えは「好きな柔道に関係した仕事を選びたかったんです」だった。加えて「人に喜ばれる仕事がしたい」のだそうで、これが秋工時代に柔道を通じて知ったことをベースにした、自分が選んだ今の方向、ということらしい。

現在三浦君は、綾瀬に住み、朝から夕方まで春日部にある整骨院でのアルバイトをし、夜6時からの四谷三丁目にある専門学校へ通う毎日を過ごしているという。私事になるが、私もかつて同じように昼アルバイトで夜に専門学校の生活を送ったことがある。けっこうしんどかったが、めざす目標があったからしのげたという思いがある。

柔道整復師となるには、高卒後専門の養成施設(専門学校等)で3年以上の修学、あるいは四年制大学で必要科目を履修、その後国家試験を受け合格する必要がある。専門学校3年目となる三浦君にとって、今年はとても大事な年といえるだろう。

全体的にとりよめのない雑談的な話に終始してしまった感もあるが、目標としていることを軸にしての話ができていくせいか、彼の話す内容はなかなか興味深く聞けるものが多かった。

彼は少し迷ってもいた。専門学校を卒業し、仮に国家試験に受かったとして、この職業が果たして、いわゆる食っていけるものなのかどうかということ。それに電気科卒である彼は、機器的なものを作ることへの興味もあって、そちらへの指向も多分にあるようだ。ここは私の出番と、長くなるので詳細は省くが、彼にいくつかのアドバイスの話をした。なかなか飲み込みの良い彼は素直にそれを受け止めてくれたようだった。

気がつくとも1時間半が過ぎていた。土曜もアルバイトの彼にはこの日は大事な休日、ということで切り上げることにした。

池袋駅から西武線に乗る私を見送ってくれた後、久しぶりだからと、池袋の街の中へと彼は戻っていった。

いろいろな思いはあるだろうが、今は柔道整復師への道をめざしてがんばれ！ そんな君に、先輩たちは心からエールを送ってくれるはず。

◆ 記事

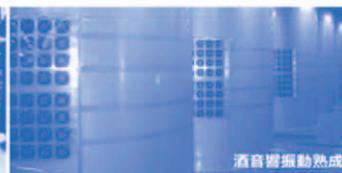
船木 一美 (昭和48年機械科卒)
東京秋工会 副幹事長



音響



コンサート



酒音響振動熱成



30サウンドアトラクション



パイプロトランスデューサ

エンターティメント、リラクゼーション、音響振動熱成 ……
体感音響の可能性は無限大です
バイジック

ACOUCVE®
ACOUSTIC VIBRATION
<http://www.acouve.co.jp>

株式会社アクーヴ・ラボ 代表取締役社長 今村 嘉男

バイジックコーディネーター 船木 一美

お問い合わせは・携帯.090-3049-7291・E-mail kf-works@sea.plala.or.jp (船木)まで

(昭和48年機械科卒)